

Press Release

トリナ・ソーラー、2015 年第 1 四半期の業績を発表

常州(中国)発 2015 年 5 月 21 日/PRNewswire/ -- 太陽光電池(「PV」)のモジュール、ソリューションおよびサービスにおいて世界の PV 業界をリードする Trina Solar Limited(NY 証券取引所:TSL)(「トリナ・ソーラー」または「当社」)は本日、2015 年第 1 四半期の決算報告を発表しました。

2015 年第 1 四半期の財務・業績のハイライト

- ・ モジュールの総出荷量は 1,026.2MW(内訳は、社外への出荷 891.7MW、当社自身の下流部門の太陽光発電プロジェクトへの出荷 134.5MW)で、2014 年第 4 四半期は 1,098.8MW、前年同期は 558.0MW。当社のご案内は 840MW から 870MW。
- ・ 純収入は 558.1 百万ドルで、前四半期比 20.8%減
- ・ 粗利益率は 18.0%で、前四半期は 15.7%
- ・ 営業利益は 29.2 百万ドルで、前四半期比 4.4%減
- ・ 純利益は 15.7 百万ドルで、前四半期比 12.7%増
- ・ 完全希薄後の米国預託株式(「ADS」、ADS 1 株が当社の普通株式 50 株に相当する)1 株当たり利益は 0.16 ドルで、前四半期は 0.13 ドル。

トリナ・ソーラーの会長兼最高経営責任者の高紀凡(Mr. Jifan Gao)は、次のようにコメントしました。「当四半期は、第 1 四半期として当社の歴史上最高の業績をあげることができました。市場予測はもちろん当社のご案内(カンパニーガイダンス)をも上回る業績を達成しました。従来から年間で最も低調となる第 1 半期にもかかわらず 1GW を超える記録的な出荷量を達成し、世界有数の太陽エネルギー企業として業界トップの地位を維持しました。粗利益率は前四半期の 15.7%から 18%に上がりました。これは、コスト削減の努力が引き続き功を奏し、当四半期中の平均販売価格の下落を相殺して余りあるものとなったためです。また、高付加価値製品の売上好調に並んで、地理的な売上構成も好転しました。

世界的な需要の増大に伴い、製造能力拡大計画も、国内施設、海外施設共に順調に進んでおり、本年度の残りの期間そしてそれ以降においても、需要の増大に対応できるものと確信しております。マレーシアの施設は、先日発表致しましたタイの施設と共に、製造能力の拡大のみならず世界市場での当社の競争力の強化にも貢献することでしょう。

技術面では、Honey Plus 多結晶シリコンモジュールが当四半期に変換効率の記録を新たに塗り替えました。先頃、コロラド州デンバーにある再生可能エネルギー研究所が発行する「Best Research-Cell Efficiencies Chart(セル変換効率チャート)」に当社の名前が掲載され、トリナ・ソーラーは、世界有数の変換効率を有する太陽光技術を追跡する同研究所のチャートに中国企業として初めて登場しました。

下流部門事業でも、英国と中国において大幅な進展がありました。引き続き中国国内および海外においてパイプラインを強化していく所存であり、特に中国で進めているユーティリティ規模および分散型発電(「DG」)のプロジェクトの巨大な可能性をフルに生かすことを目指しています。

2015 年度の残りの期間も、世界的な需要の増大が太陽光産業のさらなる成長を引き続き推進すると確信しています。トリナ・ソーラーは、2015 年度の好調なスタートを切りました。引き続き世界最大のモジュールサプライヤーとして主導的な地位を強化し、世界最高レベルのプロジェクト開発・運用会社になるという当社のコミットメントを果たしていく所存です。」

2015年第1四半期の業績

純収入

純収入は 558.1 百万ドルで、前四半期比 20.8%減、前年同期比 25.5%増でした。総出荷量は 1,026.2MW(内訳は、収入として認識された社外への出荷が 891.7MW、当社自身の下流部門の発電プロジェクトへの出荷が 134.5MW)で、前四半期は 1,098.8MW(内訳は、収入として認識された社外への出荷が 1,070.5MW、内部への出荷が 28.3MW)、前年同期は 558.0MW(内訳は、収入として認識された社外への出荷が 534.2MW、内部への出荷が 23.8MW)でした。収入および出荷量の前四半期比減の主な理由は、中国での需要が落ち込む季節的要因によるもので、ヨーロッパおよび日本での需要増によってある程度相殺されました。収入および出荷量の前年同期比増は、主要な地理的領域、特に中国、日本および米国からの需要の増大が主な推進力となりました。

粗利益および粗利益率

粗利益は 100.3 百万ドルで、前四半期は 111.0 百万ドル、前年同期は 91.5 百万ドルでした。粗利益率は 18.0%で、前四半期は 15.7%、前年同期は 20.6%でした。粗利益率の前四半期比増の主な理由は、1 ワット当たりの当社のコスト減であり、これが平均販売価格(ASP)の下落を相殺して余りあるものであったことに加えて、当社が比較的高い ASP を実現している米国、日本およびヨーロッパへの出荷増を反映して当四半期の売上品構成が変化したことでした。粗利益率の前年同期比減の主な要因は、前年同期に比べて、ASP の下落速度が当社のコスト削減速度よりも早かったことです。

営業費用、営業利益および営業利益率

営業費用は 71.2 百万ドルで、前四半期比 11.6%減、前年同期比 33.6%増でした。前四半期比減の主な原因は、出荷減の結果としての販売費の減少、特に発送費および保証費の減少に加えて、季節的な相対的停滞期におけるマーケティング費の減少でした。前年同期比増の主な要因は、前年同期の 50MW のウーウェイ のプロジェクト売却に伴う営業費用が、モジュール販売に伴う販売費よりも低かったことに加えて、当四半期の出荷量が多かったことでした。純収入に対する営業費用の割合は当四半期は 12.8%であり、前四半期の 11.4%、前年同期の 12.0%に比べて増加しています。営業費用には、0.06 百万ドルの貸倒引当金戻入額(前四半期は 1.0 百万ドル)が含まれています。

結果として、営業利益は 29.2 百万ドルで、前四半期は 30.5 百万ドル、前年同期は 38.2 百万ドルでした。営業利益率は 5.2%で、前四半期は 4.3%、前年同期は 8.6%でした。

純支払利息

純支払利息は 10.7 百万ドルで、前四半期は 8.3 百万ドル、前年同期は 8.7 百万ドルでした。

為替差損益

為替差損 1.7 百万ドルを計上し、これには外国為替デリバティブ商品の公正価額の変更による差益 5.3 百万ドルが含まれています。前四半期は 7.6 百万ドルの差損、前年同期は 0.8 百万ドルの差益でした。為替差損の主な原因は、当四半期中の米国ドルに対するユーロおよび日本円の下落でしたが、米国ドルに対する人民元の上昇によって相殺されました。

法人所得税費用

法人所得税費用は 3.2 百万ドルで、前四半期は 1.7 百万ドル、前年同期は 6.4 百万ドルでした。

純利益およびADS 一株当たり利益

純利益は 15.7 百万ドルで、前四半期は 13.9 百万ドル、前年同期は 26.5 百万ドルでした。

純利益率は 2.8%で、前四半期は 2.0%、前年同期は 6.0%でした。

トリナ・ソーラーの普通株主に帰属する純利益は 13.9 百万ドルで、前期は 10.6 百万ドル、前年同期は 26.5 百万ドルでした。

完全希薄化後の ADS 一株当たり利益は、0.16ドルで、前四半期は 0.13ドル、前年同期は 0.37ドルでした。

財務状態

2015年3月31日現在、当社が保有している現金および現金同等物ならびに拘束預金は 682.9 百万ドルでした。銀行借入金総額は 912.2 百万ドルで、そのうち 883.8 百万ドルは短期借入金(1年以内に返済予定の長期借入金 80.3 百万を含む)でした。

2015年3月31日現在の株主資本は 988.4 百万ドルで、前四半期末日現在の 972.8 百万ドルから増加しました。

第 2 四半期および 2015 年度に関するご案内

2015 年第 2 四半期に関するご案内

1,100MW から 1,140MW の PV モジュールを出荷し、その内の 150MW から 170MW は当社の下流部門の PV プロジェクトに出荷する予定で、下流部門への出荷の収入は認識されません。2015 年第 2 四半期中に 65MW から 70MW の PV プロジェクトをグリッドに接続することを見込んでいます。

2015 年に関するご案内

2015 年度の製造能力

当社は、2015 年末時点で年換算で下記の製造能力を達成すると予想しています

- ・インゴットの製造能力約 2.2GW
- ・ウエハの製造能力約 1.7GW
- ・PV セルの製造能力約 3.5GW
- ・モジュールの製造能力約 4.8GW

PV モジュールの総出荷量は 4.4GW から 4.6GW までの間と予想しており、その内の 700MW から 800MW は当社の下流部門プロジェクトへの出荷となる予定です。総出荷量は 2014 年度の 20%から 26%増に相当します。

世界全体で 700MW から 750MW までの下流部門 PV 発電プロジェクト(中国国内の DG プロジェクトの 30%~40%を含む)をグリッドに接続することを見込んでいます。

営業および事業の最新情報

製造能力

2015 年 3 月 31 日現在の当社の年換算の製造能力は以下の通りでした。

- ・社内のインゴットの製造能力約 2.2GW
- ・ウエハの製造能力約 1.7GW
- ・PV セルの製造能力約 3.2GW
- ・モジュールの製造能力約 4.0GW

プロジェクト開発

2015 年第 1 四半期中に、英国の 49.99MW および中国の 5MW の DG プロジェクトを含めて、合計 55MW のプロジェクトをグリッドに接続しました。

英国では、ノーフォークの 49.99MW の太陽光発電所を最高対価の約 59.1 百万英国ポンド(約 87.7 百万ドルに相当)で Bluefield Solar Income Fund Limited に売却する一連の契約を締結しました。その収入は、クローリング条件が満たされていないため、2015 年第 1 四半期には認識されていません。

中国では、安徽省合肥で最高 300MW の DG 太陽光プロジェクトおよび関連プロジェクトを開発するという戦略的協力枠組み契約を Hefei Xinzhan General Pilot Zone(合肥新站総合開発モデル地区)の管理委員会と調印しました。このプロジェクトの第一段階は、30MW の商業用ルーフトップ・プロジェクトで構成され、2015 年第 2 四半期に着工しました。このプロジェクトが完成すれば、中国で最大級の単一ユニットの商業用ルーフトップ・プロジェクトとなります。

当社は、国内外の市場におけるユーティリティ規模のプロジェクトおよび DG プロジェクト向けの当社下流部門事業の開発に際して、それぞれの状況に適した戦略を採用しています。当社単独でのプロジェクト開発を予定する場合もあれば、現地のパートナーと協力してプロジェクト開発することによって、その資源と能力の有効活用を目指す場合もあります。市場ごとに、政府のクォータ量(割当量)を当社が取得できるかどうかや、地理的な位置、政策および規制環境、潜在的内部収益率、現地の送電電力、現地パートナーとの協力の可能性などの様々な要因を考慮に入れています。

■Trina Solar Limited (トリナ・ソーラー)

トリナ・ソーラー(NY証券取引所:TSL)は、太陽電池モジュールおよび太陽光発電システムインテグレーションのグローバルリーダーです。1997年に太陽光システムインテグレーターとして設立以来、トリナ・ソーラーは、世界中の施工、販売、ディベロッパーなどのパートナーの皆様と共に、“Smart Energy Together”(「みんなでスマートエネルギー」)を推進しています。優れた革新性、高品質、垂直統合による一貫生産体制、環境責任を軸にトリナ・ソーラーはより良い社会づくりに取り組んでいます。詳しくは、<http://www.trinasolar.com>をご覧ください。

【本件に関するお問合せ】

トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社 プレス担当：春日(マーケティング)

TEL.03-3437-7000 (受付時間：月～金 ※祝日を除く 9:00～18:00)

Trina Solar Limited
要約連結損益計算書(未監査)
(単位：1,000 米国ドル、ADS および株式のデータを除く)

	下記の日付に終了した3か月間		
	2015年	2014年	2014年
	3月31日	12月31日	3月31日
純収入	\$558,089	\$705,039	\$444,811
売上原価	457,768	594,009	353,298
粗利益	100,321	111,030	91,513
営業費用			
販売費	35,780	40,166	24,186
一般管理費	27,708	33,494	24,308
研究開発費	7,679	6,858	4,774
営業費用合計	71,167	80,518	53,268
営業利益(損失)	29,154	30,512	38,245
為替差益(差損)	(6,961)	(9,232)	1,576
支払利息	(11,363)	(9,100)	(9,139)
受取利息	642	795	460
デリバティブの公正価額変動利益	5,250	1,677	(815)
その他の利益(純額)	2,166	940	2,557
税引前利益(損失)	18,888	15,592	32,884
法人所得税(費用)ベネフィット	(3,222)	(1,687)	(6,411)
純利益(損失)	15,666	13,905	26,473
非支配持分に帰属する(利益)/損失	(1,753)	(3,290)	35
Trina Solar Limited に帰属する純利益	\$ 13,913	\$ 10,615	\$ 26,508
ADS*1 株当たり利益(損失)			
基本的	\$ 0.17	\$ 0.13	\$ 0.37
希薄後	\$ 0.16	\$ 0.13	\$ 0.37
加重平均ベースの発行済 ADS*			
基本的	84,296,573	84,105,526	71,180,980
希薄後	97,161,189	84,756,928	72,562,435

*「ADS」は、当社の米国預託株式を指し、1株が普通株式50株に相当します。

Trina Solar Limited
要約連結包括的利益計算書(未監査)
(単位：1,000 米国ドル)

	下記の日付に終了した3か月間		
	2015年	2014年	2014年
	3月31日	12月31日	3月31日
純利益(損失)	\$ 15,666	\$ 13,905	\$ 26,473
その他の包括的利益(損失)：			
為替換算調整	(150)	907	(2,292)
包括的利益(損失)	15,516	14,812	24,181
非支配持分に帰属する包括的(利益)/損失	(1,515)	(3,470)	112
Trina Solar Limited に帰属する包括的利益	\$ 14,001	\$ 11,342	\$ 18,321

Trina Solar Limited
要約連結貸借対照表(未監査)
(単位:1,000 米国ドル)

	3月31日現在 2015	12月31日現在 2014	3月31日現在 2014
資産			
流動資産:			
現金および現金同等物	\$ 516,026	\$ 392,893	\$ 463,511
拘束預金	166,857	146,929	114,190
棚卸資産	342,699	350,852	426,683
売却用開発プロジェクト資産	80,916	60,105	39,640
売掛金(純額)	568,380	621,524	347,439
当期分前払金(純額)	42,239	50,250	63,911
前払費用およびその他の流動資産(純額)	136,302	150,793	117,576
流動資産合計	1,853,419	1,773,346	1,572,950
有形固定資産(純額)	1,304,223	1,253,543	898,197
(\$457,452、\$385,477 および \$52,784 の所有用開発プロジェクトの各決算時期を含む)			
売却用開発プロジェクト資産	-	-	5,730
土地使用権(純額)	52,595	48,076	48,821
前払金(当期分差引後)	15,730	20,751	39,966
関係会社株式投資	25,835	25,568	11,770
繰延税金資産(純額)	30,619	30,978	46,343
その他の非流動資産	55,956	47,304	1,223
資産合計	\$ 3,338,377	\$ 3,199,566	\$ 2,625,000
負債および株主資本			
流動負債:			
短期借入金(長期借入金の当期支払分を含む)	\$ 883,823	\$ 820,252	\$ 877,138
買掛金	714,623	750,096	536,862
未払費用およびその他の流動負債	261,161	179,455	135,186
流動負債合計	1,859,607	1,749,803	1,549,186
長期銀行借入金(当期支払分除く)	28,378	22,434	105,495
優先転換社債	287,500	287,500	-
未払保証費用	109,102	103,197	85,079
その他の非流動負債	35,687	35,553	20,945
負債合計	2,320,274	2,198,487	1,760,615
普通株式	43	43	36
資本剰余金	753,892	752,384	664,922
利益剰余金	216,620	202,707	169,877
その他の包括的利益累計額	17,799	17,710	13,189
Trina Solar Limited 株主資本合計	988,354	972,844	848,024
非支配持分	29,749	28,235	16,361
株主資本合計	1,018,103	1,001,079	864,385
負債および株主資本合計	\$ 3,338,377	\$ 3,199,566	\$ 2,625,000